

令和元年度

教育に関する事務の管理及び執行の  
状況についての点検及び評価報告書

(平成 30 年度事業)

令和元年 8 月

錦江町教育委員会

## 目 次

|     |   |           |
|-----|---|-----------|
| I   | 錦江町教育委員会点検・評価の基本方針                              | P2        |
| II  | 錦江町教育委員会委員活動状況                                  | P3 ~ P5   |
| III | 教育委員会所管の事務事業についての点検・評価                          |           |
| 1   | 具体的施策ごとの点検・評価                                   | P6 ~ P25  |
| 2   | 事務事業についての教育委員からの点検・評価<br>(総括的評価及び具体的施策ごとの点検・評価) | P26 ~ P28 |
| IV  | 外部評価委員の点検・評価                                    | P29 ~ P30 |

# I 錦江町教育委員会点検・評価の基本方針

## 1 概要

平成19年6月に『地方教育行政の組織及び運営に関する法律』の一部が改正（平成20年4月1日施行）され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果について報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられた。

このことから、本町教育委員会では法の趣旨に則り、効果的な教育行政の推進に資するとともに町民への説明責任を果たすため外部評価委員会を設置し、教育委員会所管の事務事業の点検を行うこととした。

### 《参考》

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（昭和31年法律第162号）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。（平成20年4月1日施行）

## 2 点検・評価に当たっての基本的な考え方

- (1) 成果を重視した行政運営を行うため、事後評価を基本とする。
- (2) 評価の客観性、透明性を確保するための外部評価を行う。
- (3) 評価の対象・方法は、必要に応じ、見直しを行う。

## 3 点検・評価の対象

- (1) 教育委員会委員の活動状況
  - ① 定例及び臨時教育委員会の会議状況
  - ② その他の活動状況
- (2) 教育委員会所管の事務事業  
教育委員会が所管する事務事業については、総括評価と事業ごとの評価を行う。  
また、事業ごとの評価はこれまでの書式をベースにその年度の評価を行う。

## 4 点検・評価の手順

- (1) 教育委員及び教育委員会事務局による自己評価
- (2) 外部評価委員による評価
- (3) 報告書の作成
- (4) 教育委員会で報告書の決定
- (5) 議会への提出及び公表

## II 錦江町教育委員会委員活動状況

### 1 教育委員の状況

平成30年4月1日現在の委員数・・・4人（男性3人，女性1人）

### 2 教育委員会定例会等の状況

(1) 平成30年度の招集回数

○定例会・・・12回

(2) 定例会教育委員会，臨時教育委員会における主な審議内容

○定例会では，毎回，委員及び教育長の報告（諸般の報告），その月の事業報告，翌月の事業計画を報告

| 月     | 審 議 内 容  |
|-------|--|
| 4月定例会 | ○議事<br>・平成30年度要保護認定審査<br>・平成30年度錦江町教育行政施策  |
| 5月定例会 | ○議事<br>・平成30年度錦江町一般会計補正予算(第3号)に関する意見申出<br>○報告<br>・教育委員の任命について<br>○その他<br>・平成30年度明治維新150周年記念自主文化公演 ～桂竹丸講演&落語会「西郷隆盛伝」～   |
| 6月定例会 | ○議事<br>・準要保護児童生徒の認定<br>・錦江町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正<br>○報告<br>・教育長の任命<br>・平成29年度学校給食センター会計決算状況<br>・教育関係入札結果<br>○その他<br>・学習支援等教室の実施   |
| 7月定例会 | ○議事<br>・錦江町立小学校及び中学校の通学区域の指定に関する規則の一部改正<br>○報告<br>・平成31年度使用中学校教科用図書の採択<br>・平成31年度使用小学校教科用図書の採択<br>○その他<br>・平成30年度教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価(案)<br>・第18回肝属地区体育大会結果<br>・トワイライト2018                        |
| 8月定例会 | ○議事<br>・平成30年度錦江町一般会計補正予算(第7号)に関する意見申出<br>・平成30年度教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価報告書<br>○報告<br>・教育関係入札結果<br>○その他<br>・全国学力・学習状況調査の結果分析<br>・大隅広域図書館ネットワークシステムの導入について<br>・第14回町民体育大会決定事項等<br>・小学校運動会及び中学校体育大会の訪問 |
| 9月定例会 | ○その他<br>・燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会「ゆめ～K I B A I Y A N S E～ダンス」披露  |

| 月      | 審 議 内 容  |  |
|--------|--|--|
|        |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット利用状況調査結果</li> <li>・議会決算特別委員会の質疑内容</li> </ul>  |
| 10月定例会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○議事</li> <li>○報告</li> <li>○その他</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・準要保護児童生徒の認定</li> <li>・平成30年度錦江町一般会計補正予算(第9号)に関する意見申出</li> <li>・教育関係入札結果</li> <li>・町民体育大会中止に至った経緯</li> <li>・町民体育大会国体ダンス披露中止に伴う披露変更</li> <li>・第14回錦江町文化祭・生涯学習推進大会</li> <li>・森と水の俳句・写真コンクール二次審査</li> </ul>  |
| 11月定例会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○議事</li> <li>○報告</li> <li>○その他</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度錦江町一般会計補正予算(第10号)に関する意見申出</li> <li>・錦江町補助金交付要綱の一部改正</li> <li>・教育関係入札結果</li> <li>・平成30年度第2回教育支援委員会判定結果</li> <li>・平成31年錦江町成人式</li> <li>・第14回花瀬公園まつり 駅伝大会</li> <li>・平成30年度自主文化事業</li> </ul>   |
| 12月定例会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○議事</li> <li>○その他</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・準要保護児童生徒の認定</li> <li>・平成30年度錦江町一般会計補正予算(第11号)に関する意見申出</li> <li>・平成31年錦江町成人式の開催</li> </ul>  |
| 1月定例会  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○議事</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・準要保護児童生徒の認定</li> </ul>   |
| 2月定例会  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○議事</li> <li>○報告</li> <li>その他</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度錦江町一般会計補正予算(第7号)に関する意見申出</li> <li>・平成31年度錦江町一般会計当初予算に関する意見申出</li> <li>・錦江町公民館条例の一部改正</li> <li>・錦江町総合交流センターの設置及び管理に関する条例の制定</li> <li>・錦江町補助金交付要綱の一部改正</li> <li>・権利の放棄</li> <li>・大隅広域図書館ネットワークシステム</li> <li>・「鹿児島県県民の日を定める条例」の施行及び「県民の日」の取組</li> <li>・平成31年度錦江町教育行政施策(案)</li> <li>・平成30年度鹿児島学習定着度調査結果</li> <li>・平成30年度全国体力・運動能力調査の結果</li> <li>・町内小・中学校の平成30年度卒業式及び平成31年度入学式</li> </ul> |
| 3月定例会  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○議事</li> <li>○報告</li> </ul>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度錦江町一般会計補正予算(第12号)に関する意見申出</li> <li>・錦江町総合交流センター建設工事の請負契約変更</li> <li>・錦江町公民館条例の一部改正</li> <li>・錦江町公民館管理運営規則の一部改正</li> <li>・錦江町給食センター運営規程の一部改正</li> <li>・学校職員人事の内申</li> <li>・教育委員会委員の任命</li> </ul>  |

(3) 総合教育会議

|                | 協議・調整事項   |
|----------------|---|
| 第 1 回<br>7月23日 | ① 疾病として位置付けられたゲーム障害<br>② 外国語指導<br>③ 社会教育施設の活用方策 |
| 第 2 回<br>1月25日 | ① 町長への手紙<br>② 2020かごしま国体                        |

(4) 教育委員の研修会や主な活動状況

- ・ 4月 小中学校入学式，転入職員宣誓式
- ・ 5月 県市町村教育委員会連絡協議会定期総会（鹿児島市）
- ・ 6月 町教育委員会学校訪問（2日間）
- ・ 7月 肝属地区市町教育委員会連絡協議会理事会・総会（錦江町）
- ・ 8月 市町村教育委員会委員研修（鹿児島市）
- ・ 9月 中学校体育大会訪問，小学校運動会訪問
- ・ 10月 鹿児島県市町村教育委員会連絡協議会第2回幹事会
- ・ 11月 町教育委員会学校訪問（2コース），町文化祭・生涯学習推進大会  
県市町村教育委員会連絡協議会研修会・講演会（鹿児島市）  
肝属地区市町教育委員会連絡協議会管外研修視察（宮崎県）  
肝属地区教育振興大会（鹿屋市）
- ・ 1月 町成人式，仕事始め式
- ・ 3月 小中学校卒業式

(5) 教育委員からの意見，反省及び要望

- 定例会教育委員会では，委員の方々の様々な経験や事例等やたくさんの意見が出され勉強になる。
- 毎月の定例会議の教育長報告は，大いに参考になります。会議の進行は，今のままでよいと思う。
- 積極的に研修活動等に参画し，見識を高め教育行政のさらなる振興に努めたい。
- 保護者との接点が少ないので，今後改善してほしい。
- 過去の経験や事例だけでなく，新たな取組みについて学習する研修や協議の機会を設けてほしい。

### Ⅲ 教育委員会所管の事務事業についての点検・評価

#### 1 具体的施策ごとの点検・評価

##### 【教育総務チーム】

##### 1 規範意識を育て、心豊かで健やかな体を育む教育の推進

- (1) 道徳教育の充実
- (2) 人権教育の充実
- (3) 生徒指導の充実
- (4) 読書指導の充実
- (5) 体力・運動能力の向上
- (6) 健康に関する教育の充実
- (7) 食育の推進

##### 2 個々の能力を伸ばし、「生きる力」を育む教育の推進

- (1) 確かな学力の定着
- (2) 外国語、外国語活動の推進
- (3) 小規模・複式学級における指導法の充実
- (4) 特別支援教育の推進
- (5) キャリア教育の推進
- (6) 小中一貫教育を見通した小中学校の連携
- (7) 情報教育の推進
- (8) 社会の変化に対応した教育の推進

##### 3 保護者・地域から信頼される学校づくりの推進

- (1) 教職員の服務規律確保と資質の向上
- (2) 地域に開かれた学校づくり
- (3) 安全・安心な学校づくりと児童生徒の安全確保
- (4) 就学・就園の支援
- (5) 伝統や文化に関する教育の充実

##### 【生涯学習チーム】

##### 4 学校・家庭・地域社会が連携して子供を育てる環境づくりの推進

- (1) 地域社会が支援する「地域の中の学校」づくりの推進
- (2) 地域ぐるみによる子供の教育
- (3) 家庭の教育力の向上

##### 5 生涯教育・生涯体育の推進とスポーツ・文化の振興

- (1) 生涯学習環境の整備・充実と各種学級等の充実
- (2) 青少年教育の充実
- (3) 地域文化活動の充実と文化財（有形・無形）の保存伝承
- (4) 生涯スポーツの振興

【教育総務チーム】

|   |   |
|---|---|
| 点検・評価対象事業   | 1 規範意識を育て、心豊かで健やかな体を育む教育の推進   |
| 事業の目的   |   |
| <p>錦江町内の児童生徒が心も体も健やかに成長し、学校生活を通して夢や希望を育むことができるようにする。また、いじめや不登校の早期発見・早期対応をめざすと共に、未然防止につながる指導体制を構築していくことを目的とする。</p>                         |   |
| 平成30年度の主な事業の概要 ●印・・・H30年度、特に工夫改善した項目  |   |
| <p>(1) 道徳教育の充実</p> <p>(2) 人権教育の充実</p> <p>(3) 生徒指導の充実</p> <p>(4) 読書指導の充実</p> <p>(5) 体力・運動能力の向上</p> <p>(6) 健康に関する教育の充実</p> <p>(7) 食育の推進</p> | <p>●「特別の教科 道徳」の充実に向けた研究の深化に関する指導助言</p> <p>○地区道徳教育研修会への参加奨励</p> <p>○「なくそう差別築こう明るい社会」を活用した年3回以上の校内研修の充実</p> <p>○年間計画に沿った研修会への参加の推進</p> <p>○校内研修の講師選定に関する指導助言</p> <p>○いじめ問題・不登校への対応のため、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの派遣と効果的な活用</p> <p>○日常の状況把握の徹底と早期発見・早期対応のための指導助言</p> <p>○「いじめを考える週間」への取組みの指導助言</p> <p>○学校・教委・地域・関係機関が連携したケース会議の開催</p> <p>○生活研や外指連等を中心とした生徒指導に向けた指導助言</p> <p>○問題行動等事案の早期発見・早期対応と迅速な報告についての指導</p> <p>○よりよい生活習慣の確立を図るための各中学校区毎の連携に関する取組みへの指導助言</p> <p>○国語科の授業と関連付けた読書指導の充実に関する指導助言</p> <p>○図書司書補の配置と効果的活用による読書習慣の確立</p> <p>○年3回の図書司書補研修会を通じた学校図書運営の充実</p> <p>○全国体力運動能力・運動習慣調査の結果分析と具体策の指導</p> <p>○「チャレンジかごしま」への全校参加を通じた運動の推進</p> <p>○中学校武道の年間指導計画の確認と外部指導者の配置</p> <p>○町養護教諭等研修会等を通じた各学校における保健指導の充実に関する指導助言</p> <p>○感染症予防の情報収集と関係機関との連携</p> <p>○栄養教諭の派遣による食育教育支援</p> <p>○漁協と協力したお魚料理教室の開催（11月）</p> |



|  |   |
|--|---|
|  | ○児童生徒の給食費の一部を補助することによる町内産給食物資の活用を通じた食育推進事業の推進 |
| 事業の実施状況  |   |
| <p>(1) 道徳教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校道徳教科書の採択を行うことができた。(教科書会社：光村図書出版に決定)</li> <li>・各中学校で教職員による巡回図書展示を行い、各学校の意見を集約した。</li> <li>・中学校道徳の教科化に向けて、年間指導計画の作成や別業の見直し、及び評価について各学校に指導し、次年度の道徳の授業へ向けて準備を行うことができた。</li> <li>・地区道徳教育研修会への参加を奨励した。(志布志市立松山小、宇都中へ町内から9名出席)</li> </ul> <p>(2) 人権教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最新の情報を各学校に提供し、学校内での人権教育の見方・考え方を啓発することができた。</li> <li>・「部落差別解消推進法」に関する学校教育や社会教育における取組の啓発を行った。</li> <li>・人権教育資料の校内研修での活用を積極的に呼びかけることができた。</li> <li>・校内での人権週間の設定や人権作文や標語について児童生徒の関心を高めるよう指導を行った。</li> </ul> <p>(3) 生徒指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールソーシャルワーカー(池田真理さん)の支援により、不登校が解消できるように取り組んだ。</li> <li>・家庭状況で気になる児童・生徒については、保健福祉課や児童相談所と連携して取り組んだ。</li> <li>・情報モラル教育として、第1回情報モラル講演会を10月11日(木)に実施した。(参加者約50名)</li> <li>・いじめ防止基本方針の改定を受けて、各学校におけるいじめの認知について正しい認知と早期発見、早期解決に取り組むことや、さらに子どもの心に寄り沿った指導の充実を図ることを指導した。</li> <li>・いじめの認知については、1件でも多く認知し、早期対応を図ることを指導した。いじめの認知については、毎月の生徒指導月例報告で各学校から報告受け、町内学校における状況を把握した。<br/>H29いじめ認知件数：小0件、中1件合計1件からH30いじめ認知件数：小2件、中8件合計10件</li> <li>・管理職研修会で指導するとともに、年間4回の生活指導研究協議会で情報交換を行った。</li> <li>・校内研修において、授業の中でも積極的に児童の自己肯定感を高める指導を推進した。</li> <li>・中学校区毎の小中一貫教育でも、生活習慣の確立を目指し、共通理解を行った。</li> <li>・気になる児童生徒については、関係機関との連携でケース会議を実施した。</li> </ul> <p>(4) 読書指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間読書冊数の目標の設定など、取組の紹介や図書司書補との連携した取組ができた。</li> <li>・国語科の授業で、図書室の図書を紹介するなど読書意欲向上を高め読書指導の充実を図った。</li> </ul> <p>(5) 体力・運動能力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校で体力・運動能力調査の結果を分析し、分析した結果をもとに実態に即した取組を行うように指導した。体育の授業や日常の体育関係行事で子どもの体力を高めることができた。<br/>(県調査結果の抽出校は、大原小のみ。令和元年度は、神川小と田代中学校)</li> <li>・各学校で、県教委で主催している「体力アップ!チャレンジかごしま」に取り組むことができた。</li> </ul> |   |

(6) 健康に関する教育の充実

- ・町養護教諭等研修会を実施し、各学校における保健指導の充実に努めることができた。
- ・疾病治療やアウトメディア大作戦など、小中連携を通して各家庭での実践を呼びかけた。
- ・保健福祉課と連携で、京都大学大学院との契約を交わし、町内中学校3年生の健康診断票のデータスキャンを行い、義務教育9年間の子どもの成長を保護者に周知することができた。(2年目)

(7) 食育の推進

- ・学校給食食育推進事業補助金を交付し、地元食材購入助成と保護者負担を軽減できた。
- ・栄養教諭の石田教諭とのTT授業(チームティーチング)を通して、栄養のバランスや食育についての理解を深めた。
- ・町内の食材を使用した給食や黒毛和牛を使用した給食などを行った。
- ・産業振興課と連携し中学3年生に食育と郷土産業の理解を深める事を目的に、「錦江町の産業(畜産業)を学ぶ会BBQ(バーベキュー)」を11月22日に実施した。
- ・漁協の協力により、町産業振興課事業の魚食普及講習会(お魚料理教室)が11月27日と30日に開催され、大根占小・田代小の6年生と神川小・宿利原小・池田小の5・6年生が、魚の料理と食事を体験した。

事業の効果等

(1) 道徳教育の充実

- ・小学校においては、教科としての道徳科授業が始まり、新教科書を用いた児童がより深く考える授業や、授業を通じた評価が行われた。
- ・中学校においては、道徳の教科化に向けて、問題解決的な考える道徳の授業について授業改善を推進したり、評価についての研修を深め、道徳の教科化に向けての準備ができた。
- ・中学校区毎の小中一貫教育部会では、小学校の実践が中学校に紹介され、小学校の取組を中学校につなぎ、9年間を通じた道徳教育についての理解が深まった。
- ・地区道徳研修会に各学校の道徳主任等が出席することで、道徳の授業についての研修を各学校で還元し、町内学校全職員の道徳の授業に対する意識が高まった。

(2) 人権教育の充実

- ・全ての教育の基本は、人権教育にあることを教職員の意識向上を図ることができた。
- ・校内研修で人権同和教育の資料を活用しており、基本的な考え方を指導に生かすことができた。
- ・各学校の人権週間の取組みでは、子ども一人一人を大切にされた教育の推進や、友達のよさを取れ入れ自分の生活の中に生かし、いじめや差別のない学校生活にしようとする心が子どもに育った。

(3) 生徒指導の充実

- ・日頃から教師が、児童生徒の言動に目を向け、一人一人を大切にする教育に努めるようになった。いじめ認知件数が増えたのもその結果と考える。いじめ認知した学校は、早期解決に取組み解決した。
- ・授業を通して児童生徒の「やればできる」という自己肯定感を目指す姿が見られるようになった。
- ・各学校がいじめ防止基本方針を改定し、いじめ防止に対する基本的な考え方を再確認した。特にいじめの定義やいじめ対応の仕方など各学校で共通理解することができた。

【スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用、関係機関との連携】

- ・不登校児童生徒を中心に、各学校からの要請で家庭訪問を中心に行った。報告では、生徒や保護者の様子が分かり、学校と家庭を繋いで生徒の心のケアを行うことができた。
- ・児童生徒の心の教育はもちろんのこと、学校業務の負担軽減にもつながっている。
- ・ケース会議を通して、家庭での様子や保護者の対応など、連携して指導に当たることができた。

【いじめ問題についての状況把握】

- ・いじめ認知の状況としては、小学校2件、中学校8件であった。（全て解消した。）
- ・各学校で様々な子ども同士のトラブルは多かったが、早期対応でいじめを見逃さなかった。
- ・早期発見・早期対応・早期解決のために、保護者を交えて対応を行った。
- ・校長研修会、教頭研修会、生活指導研究協議会での指導を行った。
- ・児童生徒の言動に目を向け、いじめのサインや子どもの気持ちを理解できるように努めた。
- ・町生活指導研究協議会で、各学校の実践や反省など、各学校の情報交換を行い、小中高一貫した、基本的な生活指導について共通理解することができた。

(4) 読書指導の充実

- ・学校図書館の充実で、児童生徒の年間読書冊数が増し、良書に親しむようになった。
- ・国語の授業で読書推進を指導することで、子どもの読書量が高まった、学校によっては、子供新聞を購読し、新聞を使った授業にも取り組んで子どもの読解力や表現力を高めていた。

(5) 体力・運動能力の向上

- ・児童生徒が運動にいつそう関心をもち、運動に進んで取り組むようになった。
- ・「体力アップ! チャレンジかごしま」では、全学校が取り組んだ。また、田代中学校では、伝統である早朝マラソンを継承し、気力や持久力向上を目指した。

(6) 健康に関する教育の充実

- ・町養護教諭研修会を通して共通実践・共通指導を行うことができた。
- ・アウトメディア大作戦では、中学校の試験期間などを中心に、小中連携で取り組み、各家庭で家庭学習の確立も図ることができた。

(7) 食育の推進

- ・栄養教諭の小中学校での指導により、児童生徒の食生活について理解を深めることができた。
- ・町内産給食物資の活用を行うことで、子どもが地域のよさについて考えることができた。  
特にお魚教室や錦江町の産業（畜産業）を学び会では、食育教育はもとより、キャリア教育や郷土教育の育成にもつながった。

事業の課題・改善策

【心の教育や生徒指導の充実】

- 〈課題〉 ・家庭環境の要因等によって不登校につながりがちな児童生徒がみられることから、より一層の家庭への支援が必要である。（学校教育からできる家庭教育力の向上）
- 〈改善策〉 ・関係機関同士の情報共有を進め、連携して対応を進める。いじめ問題については、1件でも多く認知し、早期対応・解決を図り、未然防止に努める指導を徹底していく。  
また、児童生徒の自己肯定感を高める取組を具体的に指導していく。

|  |  |
|--|--|
| 点検・評価対象事業  | 2 個々の能力を伸ばし、「生きる力」を育む教育の推進   |
| 事業の目的  |  |
| <p>児童・生徒の学力・学習状況を客観的な調査に基づき的確に把握し、確かな学力の育成を目指し、児童・生徒の確かな学力の向上を目指し、様々な学力向上策を検討・推進することを目的とする。</p>  |  |
| 平成30年度の主な事業の概要 ●印・・・H30年度、特に工夫改善した項目   |  |
| <p>(1) 確かな学力の定着</p> <p>(2) 外国語、外国語活動の推進</p> <p>(3) 小規模・複式学級における指導法の充実</p> <p>(4) 特別支援教育の推進</p> <p>(5) キャリア教育の推進</p> <p>(6) 小中一貫教育を見通した小中学校の連携</p> <p>(7) 情報教育の推進</p> | <p>○先進校への教職員派遣を通じた授業力向上</p> <p>○「授業基本モデル」等、問題解決的な指導法による指導助言</p> <p>○学校訪問や校内研修会を通じた授業参観の実施と指導助言</p> <p>●新学習指導要領の基本方針等に対する指導助言</p> <p>●小学校移行期間中の教育課程実施に伴う指導助言</p> <p>●「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた学力向上プログラムへの指導助言</p> <p>○小学校へのALT(外国語指導助手)配置と外国語活動の充実</p> <p>●小学校へのAEA(英語指導講師)配置と外国語活動の充実</p> <p>○ALT, AEA配置によるコミュニケーション能力や他国の文化理解の推進を含めた国際理解教育への指導助言</p> <p>○複式学級における直接指導及び間接指導への指導助言</p> <p>○複式学級設置校への複式支援員配置</p> <p>○近隣校との交流学习の推進</p> <p>○学習支援員の配置と定期的な情報交換会の実施・充実</p> <p>○各種団体主催の研修会等への積極的な参加呼びかけと連携強化</p> <p>○巡回相談に関する鹿屋養護学校との連携</p> <p>●関係機関、関係課等との連携強化と早期からの就学相談</p> <p>○教育支援委員会による継続的な支援の推進</p> <p>○小中を貫くキャリア教育推進の具体化に向けた指導助言</p> <p>○職場体験学習の充実と高等学校入試の円滑実施への指導助言</p> <p>○講演会等を通じたキャリア教育の充実</p> <p>○各中学校区連絡会における小中連携の内容・方法等の指導</p> <p>○年間を通じた交流の実施指導、教科等部会における指導助言</p> <p>○幼保小合同研修会における幼保小連携の内容・方法等の指導</p> <p>●小中一貫教育に関する研究の推進</p> <p>○各教科・領域等における情報活用能力の育成への指導助言</p> <p>○児童生徒の発達段階に応じた情報モラル育成への指導助言</p> |

|                     |  |
|---------------------|--|
| (8) 社会の変化に対応した教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●学習支援ソフト（小学校：おさらい先生）の導入と活用に関する指導助言</li> <li>●環境教育全体計画等の整備に関する指導</li> <li>○福祉教育全体計画等の整備に関する指導</li> <li>○児童生徒自ら実践する福祉・ボランティアへの支援</li> </ul> |
|---------------------|--|

事業の実施状況

|  |
|--|
| <p>(1) 確かな学力の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修では、県教委からの資料を基に、新学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」につながる授業改善の指導を行った。また、学力向上につながる授業改善の意識を高めた。</li> <li>・錦江町短期研修では、鹿児島大学附属小中学校、支援学校に小中4名の教職員を派遣し、授業づくりや各専門教科の授業力向上について研修を深め、学校や町内に広めることができた。</li> <li>・錦江中学校においては、「学びの組織活性化」推進プロジェクト（モデル校）として、県総合教育センターや大隅教育事務所指導課と共に、深い学びを目指した指導助言を行った。（年間3回）</li> <li>・各学校の校内研修では、学校からの講師派遣申請に基づいて指導を行った。</li> <li>・新学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」の指導助言を行った。</li> <li>・道徳の教科化に向けた最新情報を各中学校に情報提供することができた。</li> <li>・小学校外国語教育の新設等に向けて、中高学年の時数や指導内容について指導を行った。<br/>（小学校3・4年は15時間、5・6年は、50時間の授業時間を確保した。）</li> <li>・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた学力向上プログラムでは、中学校の研究授業計画に対して、学校の講師派遣申請に基づいて、授業参観後に指導助言を行った。</li> </ul> <p>(2) 外国語、外国語活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校英語指導講師1名、全小学校を週1回派遣し、中学年の外国語活動の指導補助を行った。</li> <li>・ALTを全小中学校に週1回派遣し、ネイティブによる英語指導を行った。</li> <li>・小学校外国語活動では、新教材に対して具体的なカリキュラムや教材などの提供を行った。</li> </ul> <p>(3) 小規模・複式学級における指導法の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複式学級における複式支援員を配置することができた。</li> <li>・複式学級指導に関する研修会の案内や校内研修を通して指導法の指導助言を行った。</li> <li>・小規模校においては、近隣校との交流学习の推進を行った。<br/>（錦江中校区：神川小、宿利原小、池田小 田代中校区：田代小、大原小）</li> </ul> <p>(4) 特別支援教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習支援員の配置と定期的な情報交換会を行うことができた。（年間9回実施）</li> <li>・保健福祉課との連携強化に努め、就学前の保育園・幼稚園訪問を行うことができた。</li> <li>・錦江町特別支援連携協議会では、就学児童や進級時の入級及び支援員の配置など、個に応じた指導について各学校や関係機関と連携して取り組んだ。</li> <li>・就学前相談を8月から10月まで行い、5名の来所相談や電話相談に対応した。また、就学时健康診断</li> </ul> |
|--|

では、支援シート活用の説明を行った。

- ・年間1回、全小中学校で、鹿屋養護学校による巡回相談を実施した。

(5) キャリア教育の推進

- ・中学校における職場体験学習の充実に関する指導助言を行うことができた。
- ・夢や目標をもつことの大切さを生徒に実感させるための講話等を各中学校で行った。各中学校では、「あしたのチーム」の西村耕世さんが講演を行った。

(6) 小中一貫教育を見通した小中学校の連携

- ・田代中校区と錦江中校区の中校区毎に、指導方法や授業参観など、定期的な教職員の情報交換会を行った。また、町生活指導研究協議会においては、校区毎に生活指導について話し合った。
- ・各小学校では、保育園や幼稚園との連携を取り、年1回は、合同研修会を行うことができた。また、滑らかな接続を目指し、教育課程にスタートカリキュラム作成して掲載するように指導した。
- ・施設分離型小中一貫教育として、各学校の主体的な研修計画と実践を推奨した。

(7) 情報教育の推進

- ・管理職研修会では、ICT活用を図った授業を行い児童生徒の効果的な学習活動の推進を依頼した。
- ・全小学校に「おさらい先生」を導入し、国語の読解力と算数の計算力向上を図った。
- ・第1回情報モラル講演会を10月11日に、NPO法人ネットポリス鹿児島理事長 戸高成人さんを講師に町文化センターホールで実施し、約50名の教職員や保護者が参加した。

(8) 社会の変化に対応した教育の推進

- ・全校へのALT配置によりコミュニケーション能力の育成や他文化理解の推進を行った。
- ・環境教育全体計画から校区の環境を生かした特色ある教育活動の推進を行った。

事業の効果等

(1) 確かな学力の定着

- ・町内教職員の学力向上を目指した授業改善の意識が高まり、主体的な授業が展開された。
- ・錦江町短期研修や研究指定校への校外研修を通して教職員の授業力・指導力向上が見られた。
- ・「学びの組織活性化」推進プロジェクト（モデル校）事業では、錦江中学校の校内研修が充実し、授業改善の視点を全職員で共有して取り組む姿が見られた。
- ・各学校の校内研修では、各学校のテーマに沿った研修が充実され、授業改善が図られた。
- ・新学習指導要領に対する教職員の意識が高まった。
- ・小学校では道徳の教科化が始まり、中学校では教科化に向けた研修が多く行われた。
- ・小学校外国語教育が充実し、授業における指導内容や方法の実践が各学校で行なわれた。

(2) 外国語、外国語活動の推進

- ・小学校外国語教育が充実し、授業における指導内容や方法の実践が各学校で行なわれた。
- ・ALTやAEAの派遣により、全学校での外国語教育の充実が図られた。

(3) 小規模・複式学級における指導法の充実

- ・複式学級における複式支援員を配置することができた。
- ・複式学級指導に関する研修会の案内や校内研修を通して指導法の指導助言を行った。
- ・小規模校における近隣校との交流学习により、児童のコミュニケーション力が高まった。

(4) 特別支援教育の推進

- ・複式・学習支援員の情報交換会を通して、個に応じた支援の仕方について理解が深まった。
- ・就学前の保育園・幼稚園訪問を通して、就学予定児童の状況把握ができた。
- ・錦江町特別支援連携協議会では、特別支援教育に関する理解が深まった。
- ・就学前相談を通して、就学前の保護者の悩みや不安に寄り沿った対応ができた。
- ・巡回相談を通して、各学校の特別支援教育に対する理解が深まった。

(5) キャリア教育の推進

- ・職場体験学習を通して、勤労観やキャリア教育の充実を図ることができた。
- ・キャリア教育の講演では、生徒の仕事に対する考え方や自分の将来に夢をもつ心を養った。

(6) 小中一貫教育を見通した小中学校の連携

- ・中学校区ごとの定期的な教職員の情報交換会を通して、学力向上や生徒指導に関する指導の共通理解を深め、義務教育9年間を見越した指導について考えた。
- ・保幼小連携では、校種間の指導や発達段階について、教職員が学ぶことができた。また、教育課程にスタートカリキュラム作成して掲載するようになった。

(7) 情報教育の推進

- ・全小中学校でタブレット型のPCを授業で活用することができた。
- ・各学校が、研究授業などでICT活用を図った授業を積極的に行うようになった。
- ・全小学校での「おさらい先生」を導入することで、子どもが自ら学習に取組み、計算力や読解力を高める問題に取り組むようになった。
- ・第1回情報モラル講演会を通して、身近な情報機器に対する正しいモラルを教職員や町民が学ぶことができた。

(8) 社会の変化に対応した教育の推進

- ・全校へのALT配置により、児童生徒のコミュニケーション能力の育成につながった。
- ・環境教育全体計画から校区の環境を生かした特色ある教育活動を行うことができた。

事業の課題・改善策

【学力向上】

- 〈課題〉 ・各校で諸検査から課題分析を行い、工夫改善が図られているが、今後も、発展的な学習や活用力向上をめざした取組（授業改善等）の更なる推進が必要である。
- 〈改善策〉 ・目標を明確にして、単元構成や1単位時間での思考場面の工夫を行う授業改善について更に指導していく。児童生徒が主体的に活動する場や指導の工夫を積極的に行うよう指導していく。また「よか問」や「Web問題」など県が作成している活用問題を活用させたい。

|   |  |
|---|--|
| 【子どもの主体性など】   |  |
| 〈課題〉  | ・町内児童生徒の自己肯定感が高いとは言えない。  |
| 〈改善策〉   | ・「喜んで登校し、満足して下校する児童生徒」を目指して、教育活動全体を通して、達成感や成就感を味わう教育活動を展開し、キャリア教育を通して、夢や目標に向かって生き生きと取り組む手立てを具体的に管理職研修会等でも紹介していきたい。   |
| 点検・評価対象事業   | <b>3 保護者・地域から信頼される学校づくりの推進</b>   |
| 事業の目的   |  |
| 学校教育の基本となる児童生徒の安心・安全な学校生活のために、施設の改修・登下校の安全確保、就学・就園の支援を推進することを目的とする。 |  |
| 平成30年度の主な事業の概要 ●印・・・H30年度、特に工夫改善した項目                                |  |
| (1) 教職員の服務規律確保と資質の向上  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○管理職研修会の充実</li> <li>○各種研修会の研修内容の充実</li> <li>○人事評価制度の効果的活用についての指導</li> <li>○後継者育成に関する指導</li> <li>○町教職員自主研修グループ「くすのき会」の活動支援</li> <li>○管理職研修会におけるサービスの厳正確保の徹底</li> <li>○体験型・参加型の服務研修実施に向けた指導</li> <li>○個人情報保護の徹底についての指導</li> </ul>                           |
| (2) 地域にひらかれた学校づくり   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○各学校における学校評価の推進と学校評議員制度の活用についての指導助言</li> <li>○自己評価結果や学校関係者評価結果の積極的公開と報告についての指導</li> <li>●学校・家庭・地域が相互連携・協力したコミュニティ・スクールの積極的な導入に関する指導助言</li> <li>●コミュニティ・スクール導入促進に係る環境整備の充実</li> </ul>  |
| (3) 安全・安心な学校づくりと児童生徒の安全確保   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●非構造部材耐震等工事の実施（大原小・田代中）</li> <li>●プール改修及び更衣室工事の実施（田代中）</li> <li>○遊具の安全点検及び改修</li> <li>○その他、緊急度の高い施設の補修</li> <li>○迅速な児童生徒の負傷に対する災害共済給付</li> <li>○スクールガード・リーダーの配置と学校の安全確保の充実</li> <li>○各小学校区のスクールガードを対象とした講習会の実施</li> <li>○通学路安全推進会議の開催と関係機関との連携</li> </ul> |
| (4) 就学・就園の支援  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○経済的に就学困難な児童生徒への就学援助費の支援</li> <li>●中学校の新入学予定者へ新入学用品費の入学前支給</li> </ul>   |



|                           |   |
|---------------------------|---|
| <p>(5) 伝統や文化に関する教育の充実</p> | <p>○貸付金の確実な回収による安定した奨学資金の貸与<br/> ○就園奨励費（町単独事業）の継続による育児環境の向上<br/> ○南大隅高校支援策（就学支援・通学費補助）の継続実施<br/> ●幼稚園給食費の補助</p> <p>○「森と水の教育」の推進の浸透化と各学校への指導助言<br/> ●各学校における特色ある教育活動への支援及び指導助言<br/> ○町教職員フィールドワークの企画の充実<br/> ○「森と水の俳句・写真」コンクールの実施<br/> ○「ふるさと錦江検定」の実施（小4）<br/> ○各校区における伝統文化継承に関わる児童生徒の活動支援に係る各関係部署との連携</p> |
|---------------------------|---|

事業の実施状況

|  |
|--|
| <p>(1) 教職員の服務規律確保と資質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職研修会で交通違反や体罰禁止など服務規律の指導を徹底した。</li> <li>・人事評価制度に基づき、P D C Aサイクルにおける学校教職員の資質向上への取組を行った。</li> <li>・後継者育成については、管理職任用標準試験に2名受検し合格した。また、初任者研修やステップアップ研修やパワーアップ研修など、全職員で学び合う姿が見られた。</li> <li>・町教職員自主研修グループ「くすのき会」では、年間5回研修会を開催し、天体観察研修や郷土料理研修、鹿児島大学の高谷先生による学級経営について学ぶ会などを行った。</li> <li>・各学校での校内研修では、人権同和教育や図工研修など町外から講師を派遣し研修の充実を図った。</li> <li>・時期を得た服務指導や年間計画に沿った服務指導を行った。</li> <li>・服務指導個人ファイルの作成や、服務資料にコメントを書き込む欄を設けるなど、管理職と教職員の信頼関係を高める工夫などの指導を行った。</li> </ul> <p>(2) 地域に開かれた学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校における学校評価の推進と学校評議委員制度の活用について指導助言できた。</li> <li>・コミュニティ・スクールに対する考え方や実践例（大根占小）を発表する場をもった。</li> </ul> <p>(3) 安全・安心な学校づくりと児童生徒の安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非構造部材耐震等工事を実施することができた。（大原小学校・田代中学校）</li> <li>・プール及び更衣室改修工事を実施することができた。（田代中学校）</li> <li>・建築基準法施行令の基準を満たしていないブロック塀撤去及びフェンス設置工事を実施することができた。（神川小学校・宿利原小学校・田代小学校・大原小学校）</li> <li>・空調設備整備工事設計を実施することができた。（全小中学校）</li> <li>・スクールガード・リーダーを配置することができた。</li> <li>・日程調整がつかず、各小学校区のスクールガードを対象とした講習会を実施することができなかった。</li> </ul> |
|--|

(4) 就学・就園の支援

- ・ 準要保護児童生徒への就学援助費の支援を実施する中で、小・中学校の新入学予定者へ新入学用品費の入学前支給を行うことができた。
- ・ 幼稚園の就園奨励費に加え、新しく給食費補助及び特別支援教育費補助を実施することができた。
- ・ 町内の幼稚園や保育園との連携を取り、就学前の幼・園児の就学指導ができた。

(5) 伝統や文化に関する教育の充実

- ・ 特色ある教育活動への推進を行うことができた。
- ・ 「森と水の俳句・写真」コンクールの実施、「ふるさと錦江検定」の実施ができた。

事業の効果等

(1) 教職員の服務規律確保と資質の向上

- ・ 年間約20回の校内研修で指導主事が指導・助言を行うことにより、各学校の研究テーマを具現化することができた。また、錦江中では、学びの組織活性化推進プロジェクトで教職員が協働的に学ぶ姿が見られた。
- ・ 業績評価を基に評価を行うことにより、自らの指導感を振り返り、資質向上にもつながった。
- ・ 各校において服務指導に努め、特に大きな服務違反はなかった。

(2) 地域に開かれた学校づくり

- ・ 学校評議員制度は、地域の中の学校のよきサポーターになっており、事業の効果は大きい。
- ・ 大根占小学校がコミュニティ・スクールとして、地域との連携を更に深めながら教育活動を行った。

(3) 安全・安心な学校づくりと児童生徒の安全確保

- ・ 非構造部材耐震等工事を実施し、児童生徒の安全を図ることができた。（大原小学校・田代中学校）
- ・ ブロック塀撤去及びフェンス設置工事を実施し、児童生徒の安全を図ることができた。  
（神川小学校・宿利原小学校・田代小学校・大原小学校）
- ・ プール及び更衣室の改修工事を実施し、生徒の授業環境の整備を図ることができた。（田代中学校）
- ・ 平成31年度空調設備整備に向けて、全学校の空調設備整備工事設計を実施することができた。
- ・ スクールガードを県の基準に基づき各小学校へ配置し、児童の安全確保を図ることができた。

(4) 就学・就園の支援

- ・ 就学援助費について、小・中学校新入学予定者へ新入学用品費の入学前支給を行い、適時の保護者負担軽減を実施することができた。
- ・ 幼稚園の就園奨励費及び給食費の一部を補助することで、保護者の負担軽減を図ることができた。また、特別支援教育費補助を実施することで、幼稚園の特別支援教育に係る経費の負担軽減を図ることができた。
- ・ 町内の幼稚園や保育園との連携を取り、就学前の幼・園児の就学指導ができた。
- ・ 保健福祉課との連携を図り、就学前の幼・園児の就学指導を行うことができた。また、必要に応じて特別支援学級入級への指導も行った。

(5) 伝統や文化に関する教育の充実

- ・「森と水の俳句・写真コンクール」では、多くの出品があり、児童生徒が郷土に目を向け、郷土（錦江町）に関心を持ち、郷土のよさを表現する姿が見られた。
- ・錦江町検定では、児童生徒が、郷土のよさや錦江町の自然、産業等について考えることによって、郷土に対する愛着を深めることができた。

事業の課題・改善策

【社会に開かれた教育課程・地域と共にある学校・特色ある学校づくり】

- 〈課題〉 ・学校応援団や地域の方による学習支援ボランティア等、学校と地域との連携が十分に図られていない。
- 〈改善策〉 ・学校だより等の広報の仕方の工夫や地域学校協働活動の具体的な組織化など、社会教育の面からも学校教育との融合を図る。その為には、各学校が学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を導入する必要がある。また、義務教育9年間を考えた小中一貫教育の推進を今後進めていく必要がある。

【生涯学習チーム】

|  |   |
|--|---|
| 点検・評価対象事業  | 4 学校・家庭・地域社会が連携して子供を育てる環境づくりの推進   |
| 事業の目的  |   |
| 子供たちの健やかな成長のためには、学校教育とともに家庭教育がその根幹となることから、家庭教育に関する情報提供や学習機会の充実を図り、地域で子どもを守り育てる基盤づくりを推進することを目的とする。  |   |
| 平成30年度の主な事業の概要 ●印・・・H30年度、特に工夫改善した項目   |   |
| (1) 地域社会が支援する「地域の中の学校」づくりの推進<br><br>(2) 地域ぐるみによる子供の教育<br><br>(3) 家庭の教育力の向上   | ○学校応援団事業による地域の学校支援<br>○学校と地域・関係機関が一体となった子どもたちの安全確保<br>○関係機関・団体への活動支援と研修会の開催<br><br>○地域が「育ちの場、学びの場、活動の場」となる環境づくり<br>○関係機関・団体への活動支援と研修会の開催<br><br>○家庭教育や子育てに関する情報提供<br>○家庭教育に関する学習機会の提供<br>○保護者が参加しやすい家庭教育学級の工夫<br>○子育て講演会の開催<br>○「早寝・早起き・朝ごはん」運動・食育への取り組み<br>○家庭におけるインターネット端末利用に関する留意点等の啓発 |
| 事業の実施状況  |   |
| (1) 地域社会が支援する「地域の中の学校」づくりの推進<br>・学校応援団事業については、関係機関に事業概要について承諾いただき、学習支援、部活動支援、環境整備の実施、読書活動を行った<br>・安全確保については、スクールガード・リーダー等による登下校時の安全パトロールの実施及び声掛け運動を展開した。<br>・コーディネーター養成講座において、4地区公民館の代表が研修され、地域と学校と連携の重要性を確認した。<br><br>(2) 地域ぐるみによる子供の教育<br>・子供の教育については、夏休み・冬休み・春休みに帰宅時間の放送を行い、基本的な生活習慣の在り方を実践した。単位子ども会や地区公民館では、環境美化活動や伝統行事の実施にかかる話し合いなど子どもたちの意見を反映できる場の設定を図った。<br>・町民会議(年1回)、校外生活指導連絡会(年4回)、PTA連絡協議会(年4回)、社会教育委員の会議(兼公民館運営審議会)(年2回)、子ども会育成連絡協議会(年3回)、高校生父母連絡会(年2回)を実施した。<br><br>(3) 家庭教育力の向上<br>・学校と連携し家庭教育や子育てに関するチラシ、パンフレットを配布した。 |   |

- ・乳幼児学級は、大根占幼稚園（10回）、法輪保育園（8回）で実施した。
  - ・家庭教育学級を全小中学校で実施し、学校行事と合わせて開催するなどの工夫をした。
  - ・入学説明会時に子育て講座による講演会等を各小学校単位で実施した。
- 大根占小：志布志市図書館ボランティアグループかみふうせん代表 山元一彦  
「本好きな子どもを育てるための図書館ボランティアの役割」
- 神川小：島崎一朝 「かしこい子どもを育てるために」（親の心がけ）

## 事業の効果等

- (1) 地域社会が支援する「地域の中の学校」づくりの推進
  - ・全学校に地域コーディネーターを配置したことにより、子どもたちの登下校にかかる安全確保が保たれ、ボランティア登録をしていない方々も積極的に見守り支援に関わる傾向がみられる。
- (2) 地域ぐるみによる子どもの教育
  - ・自主的に自分たちが警鐘を鳴らす活動として帰宅放送を行っているが、地域住民もその影響なのか、長期休暇中の安全対策、見守りの時間に工夫がみられた。子どもたちの発言が地域に活かされるような動きや、自らが積極的に学習活動できる仕組みづくりが確立してきた。
- (3) 家庭教育力の向上
  - ・教育振興大会の鹿屋市開催で、町の関係者が多数参加し、講演では子どもたちを育てる上での大事なことに「気づき」、課題を発見する機会にもなった。
  - ・乳幼児学級や家庭教育学級、子育て講演会等を通じて、子育て世代に様々な情報や知識を提供することができた。
  - ・講師に地元の人材を活用するなどして、地域の連携を図ることができた。

## 事業の課題・改善策

- (1) 地域社会が支援する「地域の中の学校」づくりの推進
  - 〈課題〉・地域学校協働活動への移行と、地域コーディネーターの活躍の場づくりが課題である。
  - 〈改善策〉・関係者へ地域コーディネーターの認知度を高める工夫を図っていく。
- (2) 地域ぐるみによる子どもの教育
  - 〈課題〉・学校や地域、家庭での生活リズムの中から「あいさつ」の大切さを知り、自らの発言そして他人の意見を認め創造力を豊かにするための環境づくりを構築することが必要である。
  - 〈改善策〉・校外生活指導連絡会や町民会議等での情報を学校や家庭でも共有し、地域や単位子ども会の集まり等で広く子どもの意見を考える機会を講じる。
- (3) 家庭教育力の向上
  - 〈課題〉・家庭教育支援員の活用が進んでいない。（本業との兼ね合いにより予定が合わないことが多い。また、学校側で認知されていない可能性もある。）
  - 〈改善策〉・家庭教育支援員の養成を進め、人材の充実を図る。
    - ・家庭教育支援員の無理のない日程・依頼内容を検討して活用を図る。
    - ・各学級への講師紹介の際、家庭教育支援員も紹介をし、支援員の認知度を上げる。

|  |   |
|--|---|
| 点検・評価対象事業  | 5 生涯教育・生涯体育の推進とスポーツ・文化の振興   |
| 事業の目的  |   |
| 町民が生きがいを持ち生涯に渡り文化的・健康的な生活を営むことができるように生涯学習環境の整備・拡充を図るとともに、様々な学習機会を提供しマイライフ・マイスポーツ運動への取り組みや地域文化活動、伝統文化の保存伝承と地域リーダーの発掘と育成を推進することを目的とする。 |   |
| 平成30年度の主な事業の概要 ●印・・・H30年度、特に工夫改善した項目   |   |
| <p>(1) 生涯学習環境の整備・充実と各種学級等の充実</p> <p>(2) 青少年教育の充実</p> <p>(3) 地域文化活動の充実と文化財（有形・無形）の保存伝承</p>  | <p>●錦江町総合交流センターの建設</p> <p>●大隅広域図書館ネットワークシステムの導入に向けた準備</p> <p>○魅力ある公民館講座の開設と各学級の充実</p> <p>○心身ともに健やかな子供を育てるための乳幼児学級の充実</p> <p>○家庭の教育力向上をめざした家庭教育学級の充実</p> <p>○仲間とともに学び合うふれあい学級の充実</p> <p>○主体的に選択できる出前講座の開設</p> <p>○暮らしに役立つ情報や、町の取組についての出前講座の開設</p> <p>○地域人材の掘り起しと生涯学習人材バンク登録への推進</p> <p>○各種学級や公民館講座、学校応援団事業等での地域人材の活用</p> <p>○各団体の組織強化とリーダー育成</p> <p>○社会教育団体の育成支援</p> <p>○青年団組織活性化の支援</p> <p>○各種学級での人権学習の必修</p> <p>○地域ニーズに応じた中学校跡地の活用</p> <p>○毎月第3土曜日の「青少年育成の日」の推進と活動の充実</p> <p>○町青少年育成推進員の活用</p> <p>○子ども会行事への積極的な参加促進</p> <p>○高校生のボランティア活動への積極的な参加促進</p> <p>○地域ジュニア・リーダー（トワイライト）の育成事業の実施</p> <p>○インリーダー研修事業</p> <p>○町民体育大会、文化祭、地区の伝統行事、スポーツ行事、地域ボランティア活動等への参加</p> <p>○町文化祭・生涯学習推進大会の開催</p> <p>○町文化センターの有効活用</p> <p>○文化協会の活動支援と多様な文化活動の促進</p> <p>○各学校への読み聞かせや読書祭りの開催、図書宅配事業の実施</p> <p>●自主文化事業の充実（本年度みやまコンセルオーケストラによる明治維新150周年記念コンサート、記念講演の開催）</p> <p>○観光交流課と連携した文化財マップの活用・周知</p> <p>○小学校社会科見学・出前講座での文化財の紹介と周知</p> <p>○地域の文化遺産や伝統行事等の保存・伝承</p> |

|                      |   |
|----------------------|---|
| <p>(4) 生涯スポーツの振興</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○各地区団体等で保存伝承されている郷土の伝統芸能保存団体への支援や発表の場の提供</li> <li>○文化財保護審議委員と連携した文化財の調査や適正な管理保全と活用</li> <li>●燃ゆる感動かごしま国体錦江町実行委員会の運営と内容の充実</li> <li>●31年度コミュニティースポーツクラブ設立に向けた準備</li> <li>○スポーツ推進委員の資質向上及びスポーツ行事・大会等の企画立案や指導者としての積極的な活用</li> <li>○各種研修会・講習会の受講促進を通じたスポーツ少年団の指導者並びに育成母集団の資質向上</li> <li>○地区公民館やスポーツ推進委員との連携によるニュースポーツ大会や地域コミュニティースポーツ行事の実施</li> <li>○公民館講座でのスポーツ教室の実施</li> <li>○町民体育大会、地区公民館対抗球技大会（改フレンドリー球技大会）、花瀬公園まつり駅伝大会等の開催</li> <li>○肝属地区体育大会への参加及び県民体育大会等への選手派遣</li> <li>○町体育協会加盟競技団体への育成及び支援</li> <li>○補助支援制度の広報、啓発（昨年度から運用開始）</li> </ul> |
|----------------------|---|

**事業の実施状況**

|   |
|---|
| <p>(1) 生涯学習環境の整備・充実と各種学級等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合交流センターについては、平成30年4月27日から平成31年4月25日の364日の期間を要し完成した。</li> <li>・公民館講座は、受講生に人気のある趣味・教養部門の13講座（152名）開設した。</li> <li>・各学級では、2施設による乳幼児学級、町内小中学校8校で家庭教育学級、そして、ふれあい学級5学級、開設した。</li> <li>・出前講座では認知症予防・人権教育等にかかる講座や錦江町の将来を考えた講座を実施した。</li> <li>・生涯学習人材バンクについては、公民館講座、学校応援団事業等での地域人材への周知活動を行った。</li> <li>・団体の組織強化や社会教育団体の育成支援については、各種研修によるリーダー養成又は経営者研究会等への参加を誘った。</li> <li>・青年団組織活性化の支援としては、異年齢との事業に取り組むなど交流推進を図った。</li> <li>・人権同和教育の学習は、必修科目として各学級で実施できた。</li> <li>・中学校跡地の活用については、昨年、宿利原が地域住民主体の独自利用に取り組み、1昨年前は神川地区で取り組まれたサテライト事業が充実してきている。また、大原学習センターと池田学習センターも継続して利活用にかかる団体との話し合いをもった。</li> <li>・色々な集まりの中で第3土曜は、地域行事に積極的な参加を呼び掛けた。</li> <li>・犯罪防止のため、長期休暇時の特に夜間の補導活動を青少年育成推進員と取り組んだ。</li> <li>・令和元年度の大隅広域図書館ネットワークシステム導入に向け、町内2室や各市町と連携を取りながら準備を進めた。</li> </ul> <p>(2) 青少年教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な子ども会活動参加促進については、会議での申し合わせ事項でもあり、組織のない地区の会員勧誘</li> </ul> |
|---|

など地域ぐるみで取り組みできた。

- ・高校生は、地元（南大隅高校）の生徒が中心となっているが、国体の相乗効果も期待し平成29年からスポーツイベントのおもてなしなどの積極的な取り組みを実施
- ・高校生のボランティア活動をとおり、ジュニア・リーダー育成プランを考える話し合いを実施
- ・淡路、徳島、愛媛、広島でトワイライト事業を実施。中学生6名と小学生14名が研修した。今回は、ふるさと学寮、ふるさと自然塾は天候不良により未実施となった。
- ・台風等自然災害により未実施の事業以外は、積極的参加が図られた。
- ・文化祭・生涯学習推進大会では、トワイライト事業の活動実践報告や夏休み期間中に作成した優秀な作品の展示を実施出来た。
- ・文化センターでは、多くの子どもに本の素晴らしさを提供し、音楽活動や弁論など発表する機会や情報モラル講演会などへの誘いができた。
- ・文化振興における活動支援としては、伝統芸能の伝承活動や発表の場を設けるなど各地域で実施
- ・6月に全小学校を訪問し読み聞かせを実施した。職員と教師が協力して「アラジンと魔法のランプ」オリジナル紙人形劇に命を吹き込み、本や絵本の楽しみ方を表現できた。

### (3) 地域文化活動の充実と文化財（有形・無形）の保存伝承

- ・自主文化事業の充実

6月30日 「文化講演会」 ～西郷隆盛伝～ 講演&落語 桂竹丸氏 400名来場

12月24日 「お届けコンサート」 ～音で感じる明治維新～ みやまコンセールオーケストラ 305名来場

- ・文化財マップの活用・周知 明治維新から150年の影響で町外の利用が数件あった。
- ・特色ある学校活動では地域ボランティア員による「歴史遺産」の説明を実施
- ・地域の文化遺産として、松崎砲台跡周辺の清掃や、文化財保護審議委員や民間グループの協力により「砲戦記念日」の看板等を設置することができた。
- ・町内6の伝統芸能保存団体では定期的な練習に対する支援のほか、発表の場としては、各地区公民館の行事に併せ取り組んでいただいた。
- ・文化財保護審議委員の担当エリアにある国県指定の文化財38カ所のパトロールを実施し、「田ノ神像」については、研修会で学んだ清掃方法で、コケを除去する活動を行った。

### (4) 生涯スポーツの振興

- ・燃ゆる感動かごしま国体錦江町実行委員会の運営と内容の充実
- ・先催県の研修視察を励行し、競技運営及び大会運営（おもてなし事業）などの調査を実施した。  
また、その内容を照会するコンテンツとして、映像メディア、パンフレット、のぼり旗、ポロシャツ、広報活動などを実施の他、実際の雰囲気を感じていただくために、実行委員会では迫力ある映像や全国から終結した選手や応援に来られた方々のうれしい表情を上映しました。
- ・31年度コミュニティスポーツクラブ設立に向けた準備
- ・定例会及びスポーツ教室の実施の際に、無料で施設開放をするなどの支援や、県総合体育センターの職員と協力してサポートを行った。特に外部講師陣の協力については、連絡拠点として中央公民館がバックアップした。
- ・6回の例会では、各スポーツにかかる企画の立案や評価をし、スポーツ教室の指導者としても才能を発揮していただいた。（ソフトボール、卓球など）
- ・少年団では、「スポーツのもつ力」を学ぶ等、登録者の研修受講は必須科目化できた。
- ・ニュースポーツ大会（グラウンド・カーリング）をサンドームで実施した。
- ・国体のデモンストレーションスポーツである真向法体操、田園・里山の健康ウォーキング及び3B体操を公



民館講座に取り入れた。

- ・天候による影響で未開催の大会もあるが、ひとり駅伝を加え新たに花瀬公園まつり駅伝大会を開催できた。
- ・地区体や県体等に優秀な選手を派遣するとともに物的、資金援助（補助金支給）をおこなった。
- ・体協加盟団体への育成支援について、補助による支援も含め大会にかかる施設使用料の減免を実施した。
- ・補助制度の広報、周知啓発活動の成果で、グラウンド・ゴルフ、シニアソフトボール、剣道が全国大会出場

## 事業の効果等

### (1) 生涯学習環境の整備・充実と各種学級等の充実

- ・公民館講座は、趣味や教養を磨くと共にコミュニティーの場であり、乳幼児学級や家庭教育学級も子育て世代の悩みを相談できる有りの環境であり、これから、地域で抱える問題などを的確にとらえ、出前講座等の実施に期待は高まりそうである。
- ・また、生涯学習の場が拡大することは、講師人の不足も懸念されることから、講座講師としての地域人材の発掘や、近隣市町の公民館講座の情報収集が必要不可欠である。

### (2) 青少年教育の充実

- ・自主的に活動する心が芽生えた。
- ・仲間意識が生まれ一人では出来ないことに気づき助け合いの精神が芽生えた。
- ・高校生は、大人と子どもの狭間で、地域社会人としてはどのような位置付けなのかそして何をすべきなのか「気づく」ことができる。
- ・ふるさとの良さを知り、そして家族のあたたかさや友達の大切さを感じ取ることが出来ている。
- ・堂々と自分を表現できる力が育まれてきた。
- ・自分を認め、人の大切さを認めることに気づいてきた。
- ・語彙力や表現力を高めるために、本のもつ素晴らしさを認識できた。

### (3) 地域文化活動の充実と文化財（有形・無形）の保存伝承

- ・児童生徒に、素晴らしい町の文化遺産を知ってもらい、今の暮らしとのかかわりや当時の様子に思いを馳せることができ、感受性豊かな子どもの教育に役立てた。
- ・風化の進む石像など、特別な保存法や清掃技術を身につけることで観察力を身につけることに期待できる。

### (4) 生涯スポーツの振興

- ・50年周期で開催される国体を町民が一丸となって取り組めることは、町民の喜び幸福感を増幅させるものと期待します。また、間近で見る選手の競技姿勢に刺激を受け、体力づくり等、健康志向の動きが活性化されるものと思われる。
- ・国体との相乗効果も期待しながら、スポーツに親しむことで健康志向の覚醒に期待します。
- ・定期的な研修の励行で、子どもたちの成長の段階にあわせた指導力が備わってきた。
- ・ニュースポーツに触れることで自分の可能性をどこまで引き出せるか挑戦する心を養えた。
- ・真向法体操、田園・里山健康ウォーキング、3B体操など、身近にスポーツに触れる機会をつくれた。
- ・スポーツ大会、イベントの開催だけではなく、企画・運営力が備わってきた。
- ・物的、資金援助（補助金支給）で競技者の負担軽減及び日常生活への安心感につながった。
- ・組織運営の強化が図れ、大会の存続にも貢献できた。
- ・支援制度の周知啓発で、する側も見る側もスポーツに興味を抱かせ、スポーツの関心度を高めた。

(1) 生涯学習環境の整備・充実と各種学級等の充実

- 魅力ある公民館講座の開催及び各学級の充実

〈課題〉・田代地区での開催講座が少ない。

- ・受講者の年代が60～70代の女性に偏っている。

〈改善策〉・田代地区での開催講座を増やす。

- ・30～40代向けの講座内容を検討する。また、町内の若手の講師を活用する。

- 生涯学習出前講座の実施

〈課題〉・活用件数が少ない。

〈改善策〉・講座メニューの見直しを適切に行う。

- ・広報誌掲載や各サロン代表者への案内等、出前講座の周知を図る。

- 地域人材の掘り起こしと活用

〈課題〉・生涯学習人材バンクの利用が無い。

- ・人材バンクについて、広報などによる周知をしていない。

〈改善策〉・人材バンクの登録や利用の流れを広報などで周知する。

- ・利用者には利用申込書を活用してもらい、利用実績を記録する。

(2) 青少年教育の充実

〈課題〉・情報モラルや人権同和教育を学ぶ機会の充実

- ・ジュニア・リーダーの育成及び強化

〈改善策〉・子ども会、少年団及びPTA等の集まりの中で周知啓発を行う。

- ・トワイライト事業の中にも、高校生の参加する枠を検討する。

(3) 地域文化活動の充実と文化財（有形・無形）の保存伝承

〈課題〉・溶血凝灰岩の石像・石碑はコケ等に付着した水滴が凍ることで風化が進行している。

- ・伝統芸能の伝承は、少子化により保存の在り方を見直す必要がある。

〈改善策〉・風化を良しとするのでなく清掃技術や保存法の学習会へ積極的に参加に取り組む。

- ・地域の枠組みを越えて、伝承活動を行う地域学校協働活動の推進

(4) 生涯スポーツの振興

〈課題〉・コミュニティスポーツクラブ員とスポーツ推進委員が重複して活動していることでスポーツ振興にかかる任務が重たくなっており、志半ばで退任する委員など任務の軽減化が必要

- ・全国大会等の出場補助金等の見直し

〈改善策〉・スポーツ振興の目的は同じでも、有料化するスポーツ又は無償化するスポーツを明確にする等、後者はスポーツ推進委員のアクティビティとして捉えるなど、カンファレンス的な会議を実施する。

- ・トワイライト事業の中にも、高校生の参加する枠を検討する。

## 2 事務事業についての教育委員からの点検・評価 (総括的評価及び具体的施策ごとの点検・評価)

### (1) 総括的評価

#### ① 基本目標・基本方針について

- 目標・方針に基づく重点施策や具体的な取り組み等わかりやすい。今後とも目標達成に尽力されたい。
- 町の教育施策の教育目標，基本方針に沿って，各小中学校においてもよく取り組みがなされていると思う。
- 教職員の働き方改革に関して，教職員の負担軽減による業務の効率化や重点化の推進は理解できるが，これまでの行事を安易に削除したり軽減したりすることなく，先生方の意見も把握するなどして，業務全般にわたり評価，検討を進めていってほしい。
- 抽象的な表現をもう少し具体的な表現にし，児童・生徒に寄り添ったものにしてはどうか。

#### ② 教育委員会事務局の取組について

- 教育委員会の仕事の幅も広く，多くの業務があるが，協力し合ってチームごとによく取り組んでいると思う。
- 2チームの職員に分掌された事務を各職員が責務ととらえ真剣に取り組まれている。
- 機器類を使ってペーパーレス化を図り，経費や時間の削減をさらに進めてほしい。
- 今後の大きな目標達成のため，両チームが更に連携を強化されるよう切望します
- 2020 かごしま国体を控え，国体準備室が本格的に稼働し始め，これに伴いスタッフも増員となり活発化している。国体リハーサル大会，来年の本大会を成功させるには，多くの町民の方々の協力，支援が不可欠である。気持ちよく協力していただくためにも，通常の業務の中における町民の方々への声掛け，支援の在り方，より細かな配慮を忘れずあたたかな気配り，言葉使いに十分配慮していただくことが必要である。

#### ③ 教育環境の整備・充実について

- 各学校からの要望を聞き年々環境整備もなされ充実してきている。今後も限られた予算を有効に活用され，更なる環境の充実に努めてほしい。
- パソコン教室の開放を実現してほしい。授業だけの使用では，機器代，ソフト代がもったいない。
- 本町の小中学校は，いずれも地域とのつながりが強く存在意義は極めて大きい。子供たちが健やかに成長し，安心して教育を受けられる環境づくりにけっしてゴールは無いものと心がけ，常に探究心を忘れず，各学校の特色ある学校づくりと共に，地域と行政，学校がそれぞれ知恵を出し，意識を共有しながら限られた財源の中で高い効果をあげられるような施策に取り組んでほしい。(ハード面だけでなく，ソフト面での地域学校協働事業の推進と地元人材の登用促進等)

#### ④ 学校経営について

- 各学校で校長先生のカラーが出て，特色ある教育もなされていると思う。管理職の先生方には頭が下がる。
- 各学校とも創意工夫がなされ，すばらしい経営がなされている。

- 国の働き方改革が推進される中、学校長の経営方針策定と学力向上を柱とする教育目標の達成という課題の克服には、学校関係者すべてが非常に困難な状況下で苦心されていると感じる。
- それぞれの先生方が向上心をもって、他の学校への研修、交流視察などで得た良い所を自校にも取り入れてほしい。
- 働き方改革等に伴い更なる業務改善の推進に努められたい。
- 現場で働く先生方の生の声が引き上げられるような環境を確保し、臨時採用職員が多い現状を変えてほしい。

## (2) 具体的施策ごとの点検・評価

### 【教育総務チーム】

#### 1 規範意識を育て、心豊かで健やかな体を育む教育

- 「道徳」が教科化され、すべての先生方が教科の授業研究に取り組み、着実に前へ進まれていることは評価できる。今後も研修を深め、教委と一体と取り組んでほしい。
- 寺小屋塾や学習支援員の増員を図ってほしい。
- 教職員の先生方のスキルアップの機会を確保してほしい。
- 道徳教育、人権教育の充実とともにいじめ問題や不登校等への早期対応のため、関係機関の連携を図られたい。

#### 2 個々の能力を伸ばし、「生きる力」を育む教育の推進

- 保護者と学校と教育委員会が一緒になり、しっかりした自己判断できる子ども達になってほしい。
- 個々に目を向け、各家庭環境もちがう中で「生きる力」を育むために何が必要か学校全体で意見を出しサポートしてほしい。
- 社会を生きぬく基盤づくりのため子ども達個々の学力向上には特段の配慮と取り組みを望む。
- 外国語の授業が本格実施となることを受けて、小学校に英語専科を配置されたことは、非常に価値のある取組である。特に小学生は、初めての体験であり、最初の取り組み次第で外国語への関心度が大きく影響すると思われるので、学ぶ楽しさと喜びを数多く習得できるよう指導に取り組んでほしい。このことが中学校への教育活動に良好に引き継がれることと思う。

#### 3 保護者・地域から信頼できる学校づくりの推進

- 学校の保護者会にも多くの保護者が出席されており、学校経営の意識が地域へも伝わっていると思われる。
- 地域の方からも協力をいただき、子ども達にもよい影響が出ていると思う。
- 地域に開かれた学校、安全・安心な学校づくりのため、保護者や地域の多くの方々が参画するコミュニティ・スクールの積極的な導入に取り組んでほしい。
- 地域の方々の先生方に対する期待は大変大きいものがある。相互に信頼を築き上げるためにはコミュニケーションが大事であり、相手のことを気遣いつつも遠慮なく自分の意見を素直に交換することが欠かせない。お互いの意見を交換できる先生方と地域の方々の関係を築けるよう知恵を出し合ってほしいです。

## 【生涯学習チーム】

### 4 学校・家庭・地域社会が連携して子供を育てる環境づくり

- 体験活動など、学校・家庭だけではできない事を様々な観点から推進して下さりありがたい。家庭や地域をどんどん巻き込んでほしい。
- 家庭の教育力の向上は最重要課題です。学習する機会の提供を充実させてほしい。
- MIRA I 塾は、子ども達に新たな学びの機会を創設してくれました。しかし、家庭環境に恵まれない子ども達を少しでも救ってやれる地域の見守りと学校の目配りが一体化すれば、さらに素晴らしい力を発揮できるのではないだろうか。

### 5 生涯学習・生涯体育の推進とスポーツ・文化の振興

- 子どもや高齢者も参加できる歩行会（1時間）を行ってほしい。
- 総合交流センターへ来たことのない方もたくさんいると思うので、誰でも利用できるようなイベント等の機会を増やして、町民に生涯教育・体育への興味を持たせてほしい。
- 生涯学習センターとしての機能を合わせもつ、総合交流センターの今後の有効活用が望まれる。
- スポーツ・文化振興もあわせて、町民が学びを通じた生きがいづくりの機運を醸成してほしい。
- 新たな生涯学習の拠点としての町総合交流センター、今後の有効活用を全住民が注目している。施設活用に関係する、社会福祉協議会、保健福祉課、そして今年から自主運営を始めたきんこうスポーツクラブ等の機関・団体と緊密に連携を取り、生涯学習、生涯スポーツ振興を図ってほしい。

## IV 外部評価委員の点検・評価

### 1 錦江町教育委員会委員活動状況について

- 平成30年度の教育委員会会議は、定例会12回開催されており、審議の内容については、議事27件、報告13件、その他となっている。その他にも、委員の研修会や主な活動状況が報告されており、多忙な1年間だったと推測されます。
- 少子高齢化が謳われて久しいが、当町では、それが群を抜いていることは否めない事実である。少子化により子どもが少なくなっている中で、いじめ認知件数が平成29年度と比較して9件の増になっているが、不登校解消に取り組まれていることは評価できます。なお、教育委員会会議で報告されたと思うが、活動状況に出すべきと考えます。

### 2 教育委員会所管の事務事業について

#### (1) 総括的評価

##### ① 基本目標・基本方針について

- 目標・方針に基づき重点施策や取組等わかりやすく報告されています。教育関係者でないとわからない用語が多いため、聞きなれない言葉には注釈がほしい。
- 授業のほか、これだけの項目を課する内容においては、教職員の負担軽減を考慮していくべきではないかと考えます。

##### ② 教育委員会事務局の取組みについて

- チーム制については、町の方針でありこれを推進することが重要であり、チーム内及びチームを超えた協力体制の充実がより望まれることでもあります。このことは、児童生徒はもちろんのこと、町民の皆さんへの職員としての責務につながることでありと考えられます。

##### ③ 教育環境の整備・充実について

- 安心・安全な学校づくりのために、他県等における事故等参考に取り組がなされたことは大きいです。
- 全小学校のパソコンに学習支援ソフト「おさらい先生」を導入し、子ども自ら学習に取り組むようになったことは評価できる。今後、「おさらい先生」の更なる有効活用が期待されます。

##### ④ 学校経営について

- 学校ごとに特徴をもって教育に取り組まれていると思うが、小中一貫教育で9か年を見通した学校間の連携をとるためにも、小中連携をさらに密にして取り組んでほしい。

## (2) 具体的施策ごとの点検・評価

### 【教育総務チーム】

#### 1 規範意識を育て、心豊かで健やかな体を育む教育の推進

- いじめ問題や不登校について、早期対応をされていることは評価されます。今後も全教職員一体となって目配りや対応に取り組んでほしい。

#### 2 個々の能力を伸ばし、「生きる力」を育む教育の推進

- 子ども達の個々の能力や得意分野を生かした教育の推進を図ってほしい。
- 子ども達が、いきいきとした人生を歩むために、「自信を付けさせ、やる気を起こす教育」の推進が望まれます。

#### 3 保護者・地域から信頼される学校づくりの推進

- 地域の方が、街頭立哨や学校評議員等として協力してくださることは、とてもありがたいことであり、今後も地域と共にある学校づくりを推進してほしい。
- 問題が発覚したら、即座に対応し、保護者や地域から信頼される学校づくりを図ってほしい。

### 【生涯学習チーム】

#### 4 学校・家庭・地域社会が連携して子供を育てる環境づくりの推進

- 子どもを育てる上で大切なことは、家庭・地域・学校の連携が重要であり、各種研修などへの案内や、そこで培ったものを家庭教育に生かす等、いろいろな考えを共有できる場づくりが出来ていると評価します。
- 子ども達には様々な体験や団体活動をとoshi、故郷・自然のよさや家族・地域への感謝の思い、そして自立する心を養えるような学びを引き続き工夫され、子供を育てる環境づくりに邁進されますよう希望します。

#### 5 生涯教育・生涯体育の推進とスポーツ・文化の振興

- ニュースポーツの普及推進については、スポーツ推進委員が中心となり町民が生涯にわたり健康で明るくスポーツを楽しむことを目標に活動を展開し、コミュニティースポーツクラブ（きんこうスポーツクラブ）による定期的なスポーツ教室なども展開されるなど、スポーツ振興の推進も図れているものと評価している。その推進を図る上で課題に対する具体的な取り組み等があれば示してほしい。
- スポーツのパイオニアによる講義や指導も定期的に展開し、スポーツの持つ魅力・情報を引き続き発信していただけるよう希望します。

#### 外部評価委員

| 氏 名     | 学 識 等      |
|---------|------------|
| 水 口 幸 二 | 元錦江町総務管理監  |
| 永 田 泰 久 | 元錦江町保健福祉課長 |